

[大会名]令和3年度(第75回)関東高等学校女子バレーボール大会

試合会場レポート

[試合番号]特設

[開催日]2021/06/06

[会場]ひたちなか市総合運動公園総合体育館

[観客数]0

[開始時間]13:06

[終了時間]14:28

[試合時間]1:22

[主審]横須賀 威之

[副審]池田 優輝

[記録員]竹澤 香緒

女子：決勝戦

下北沢成徳高等学校

監督：小川 良樹

コーチ：伊藤 崇博

2	23	第1セット 【0:24】	25	1
	25	第2セット 【0:24】	16	
	25	第3セット 【0:28】	22	

文京学院大学女子高等学校

監督：吉田 岳史

コーチ：天野 嘉之

【 】内はセット時間

戦評

2年ぶりの開催となった関東大会女子の決勝戦は、初優勝を目指す東京第1代表、文京学院大学女子高等学校と、3年ぶり通算8度目の優勝を目指す東京第3代表、下北沢成徳高等学校との対戦となった。

第1セット、序盤は拮抗した展開となったが、文京学院大女は廣田のバックアタックや田中のブロックポイントなど4連続得点で抜け出す。終盤は谷島のスパイクなどで下北沢成徳も追い上げるも、文京学院大女がセットを先取した。

第2セットは下北沢成徳が、序盤からブロックのワンタッチなどで文京学院大女の攻撃を切り返し、濱村の強烈なスパイクなどの連続得点で一気に流れを掴む。文京学院大女は樋口の活躍などで粘りを見せるも、下北沢成徳は田中(麗)、古川の両センター陣の活躍もあって、セットを奪った。

第3セット、序盤は下北沢成徳が谷島と佐藤の攻撃でリードを奪うも、文京学院大女も廣田と坪谷のスパイクで粘り、拮抗した展開となる。チェンジコート後は文京学院大女が樋口、坪谷のスパイクなどで一時逆転に成功する。しかし、下北沢成徳は濱村の活躍などで、一気に4連続得点で流れを引き戻す。リベロ内澤の好守もあり、最後は谷島がポイントを奪って、下北沢成徳が3年ぶりの優勝を飾った。